

第4次安倍再改造内閣について

2019年9月11日

公益社団法人 経済同友会

代表幹事 櫻田 謙悟

1. 本日発足した第4次安倍再改造内閣は、安定と挑戦を志向する布陣となった。新たな体制においては、長期安定政権の利を活かし、グローバル化、少子高齢化に対応した中長期的な課題にも果敢に挑んでいく未来志向の政権運営を期待する。
2. わが国にとって財政再建は待ったなしであり、一丁目一番地の課題は将来不安と消費低迷の根底にある社会保障の改革である。国民みなで痛みを分け合う必要があるからこそ、「全世代型社会保障」のビジョンや方向性、具体的改革メニューの選択肢を示して、広くオープンな議論を行うべきだ。なお、エビデンスに基づく政策形成を行うためにも、次世代の視点に立って経済・財政・社会保障の長期展望を調査分析する独立財政機関の設置が必要である。
3. 米中覇権争いの激化などにより、世界経済の先行きは予断を許さない。こうした状況下でも日本経済が持続的に成長していくためには、デジタル・トランスフォーメーションが不可避である。政権には、デジタル化時代にふさわしい規制・制度改革の加速を求める。我われ経営者としても、リスクを取って社会課題の解決に挑戦し、若者が希望をもてる社会を実現すべく行動していく。

以 上